

平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
施策 02 循環型社会の形成
基本事業 01 ごみの減量化
主管課： 生活環境課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民，市内事業者	意図（どのような状態にしたいのか） 家庭・事業者から排出される可燃ごみ，不燃ごみ，粗大ごみを減量する。
------------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

家庭系ごみの排出量（1人1日当たり換算）（g）生活環境課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
573.00	565.00	558.00	562.00	560.00	545.00
向上指針	下がると良い	（状況）29年度の1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は，基準値から15 g，昨年度比でも7 g 減（約1％減）となり，順調に推移しています。 （原因）前年度比で，可燃ごみ167 t（1.8％減）減量したことにより，総量では28 t の減量となっています。 ※再積算により基準値を修正しています。			
対前年度	向上				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

事業系ごみの排出量（t）生活環境課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
3,864.00	4,014.30	4,114.10	4,007.00	3,783.00	3,113.00
向上指針	下がると良い	（状況）市内事業所等の増加もあって，事業系ごみの排出量は増加傾向にあり，前年度比99.8 t（2.4％増）の増となりました。 （原因）これまで事業所に対する働きかけが十分でなかったことから，27年度より，毎年実施する事業者対象の環境アンケート実施時に，古紙類リサイクルに関する情報を同封しています。アンケートの結果，ごみの分別に積極的であることがわかりましたが，まだ成果には表れていません。ごみの減量がコストの削減にも繋がることを更にPRしていく必要があると考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 決 算	H30年度 予 算	H31年度 見 込
事業費合計	33	173	4,753	5,147	5,147
人件費	0	1,468	3,456	0	0
トータルコスト	33	1,641	8,209	5,147	5,147

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

家庭ごみは、可燃ごみの重量比約40%を占める生ごみの減量化のため、各種の啓発活動を実施してきたこともあり、目標値に対して順調に推移しています。 事業系ごみについては、アンケート結果より意識の高まりはうかがえますが、結果に反映されるまでには至っていないのが現状です。 直接的な関与がない中、常総環境センターとも協力しつつ、コスト削減に結び付くような情報の周知に努め、ごみ減量の理解につなげていきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]